

## 熱く討論されました！ 「親学講座」第1回学習会

6月27日に中央公民館で、「親学講座」の第1回学習会が開催されました。講師には、県職員や県の「親の学習」指導者を招き、県が推進する「親の学習」講座について学びました。参加者からは、「学校教育と社会教育の連携」について活発な意見も出され、熱気を帯びた学習会となりました。

県担当者は、「県内各地で、寄居町と同じような取り組みを期待したい。これからも『親の学習』事業の浸透につとめたい」と話してくれました。



## 社会を明るくする運動 PRパレードが行われました！

7月は、社会を明るくする運動の強調月間でした。深谷地区保護司会寄居支部は、7月7日に深谷市の花園・川本地区保護司と合同でPRパレードを行いました。

当日は寄居町役場出発式を行い、寄居警察署のパトロールカーを先導に寄居町内および深谷市の花園・川本地内をパレードし、犯罪や非行防止のPRを行いました。

また、巡回PRとして、午前中は町内の学校訪問、午後は寄居地区更生保護女性会とともに町内の大型店4カ所での街頭広報活動を行いました。



## 今市区で子どもみこしを購入 コミュニティ推進のために



今市区（大北久勝区長）では、7月に財団法人自治総合センターが実施している平成21年度宝くじ助成を受けて、コミュニティの輪を広げることを目的に子どもみこしや曳き車等を購入しました。

7月19日に行われた夏祭りで、新しいみこしの担ぎ初めが行われ、子どもたちの元気な掛け声が、真夏の青空に響きわたっていました。祭りに参加した子どもたちは、「本物のみこしは、見た目より重いと感じました」、「新しいピッカピカのみこしが担げてうれしかったです」などと話してくれました。

## 身近な駅に花と笑顔の贈り物 花いっぱい運動実施中！

6月30日に桜沢小学校、寄居中学校、寄居城北高等学校の児童・生徒と、保護者・教職員らによる「花いっぱい運動」が行われました。これは、普段から使用している桜沢駅のホームを花で飾り、気持ちよく使ってもらうため、また、隣接する3校の交流を目的に実施しているもので、今年で8年目を迎えました。

約100人の参加者は力を合わせて70個のプランターに花を植えた後、駅に運び、通行の邪魔とならないよう配置しました。色とりどりの花で飾られた桜沢駅は、3校の児童・生徒が協力して作業する姿と同様、花と笑顔あふれる駅となりました。



## よこい夏まつり 熱気と活気に包まれました！



7月11日と12日に市街地通りで「よこい夏まつり」が開催されました。勇壮な「男性みこし」、華やかな「女性みこし」、元気いっぱいの「子どもみこし」が練り出し、訪れた見物客とともに市街地を熱気で包み込みました。

## 用土JVCスポーツ少年団 県決勝大会出場！

用土ジュニアバレーボールスポーツ少年団が、7月4日に川越市総合体育館で行われた、「全日本バレーボール小学生大会埼玉県決勝大会（女子の部）」に出場しました。

県内の32チームが出場した大会の1回戦で、用土JVCチームは強豪の大井クッキーズ（ふじみ野市）と対戦し、セットカウント0対2で惜しくも敗れました。

選手は、「一試合でも多く試合がしたかったのにくやしいです。チームのよさが出し切れないうまま終わってしまいました。次に対戦するときはもっとがんばりたいです」と話してくれました。



（コート奥：用土JVC）

## 大盛況！ 第3回寄居エキナセア祭

7月11日と12日に、健康活性農場（渡辺秀之代表）主催の「第3回寄居エキナセア祭」が、秋山の中間平エキナセアほ場で開催されました。

当日は渡辺代表によるエキナセア基礎講座や、エキナセア関連商品の販売などが行われました。訪れた観光客は花畑の散策をしたり、エキナセア商品を購入したりと、会場は大いににぎわっていました。



## 寄居女子S.C. 県代表決勝トーナメント出場！

寄居女子サッカークラブが7月18日にさいたま市西遊馬運動公園で行われた「第7回JFA関東ガールズエイト（U-12）サッカー大会」の埼玉県代表決勝トーナメントに出場しました。16チームが参加して行われた大会の1回戦でTSガールズ（所沢市）と対戦し、1対2で惜しくも敗れました。

選手は、「目標としていた県大会に出場でき良い経験ができました。結果は1対2と負けてしまいとても悔しいですが、この悔しさを忘れずに秋の大会では勝てるようにがんばりたいです」と話してくれました。

